

平成二十二年度入試報告
東大・京大・東工・一橋44名
 東大24名でV字回復す
 筑波大は42名で全国1位
 進路指導部長 門井 了

平成22年度入試は、センター試験が前年度に引き続いて難化し、国立大出願にあたって第一志望を貫くか否かの決断を迫られる厳しい入試となりました。

志願者数は、約73万4千人（前年比99・7%）、現役志願率（センター試験現役生志願者数/高等学校新規卒業生数）は、昨年度過去最高の40・4%とはじめて4割を越えましたが、今年はさらに0・5ポイント上昇して41・0%と記録を更新しました。

難化したセンター試験ですが、志願者数は昨年度より約9千人多い55万3千368人（前年比101・7%）、実受験者数は約1万3千人多い52万6000人（前年比102・6%）でした。

大学入試センター発表によると、平均点が昨年度より大幅に下がったのは、数学ⅠA、国語、物理Ⅰ、化学Ⅰ、政治経済で、06年度導入以降年々難化していた英語リスニングテストは29・39点（4・1点増）と平均点がアップしました。

900点満点の平均点は、文系7科目が54・5点（昨年55・2点）、理系7科目54・2点（昨年56・9点）で、文系が7点、理系が27点下がりました（河合塾のリーサーチによる）。本校生の平均点

も、文系が65・5・8点（昨年比20・9点減）、理系が64・4・4点（昨年比31・3点減）と下がりましたが、文系720点以上得点者が32名、理系700点以上得点者が78名で、全国の有数公立校と充分に競える結果でした。

今春の入試結果について、主なもの挙げてみます。

- 1 東京大学24名（新卒14名）
 - 2 京都大学4名（新卒3名）
 - 3 東工大学5名（新卒4名）
 - 4 一橋大学11名（新卒6名）
 - 5 東北大学15名（新卒10名）
 - 6 筑波大学42名（新卒35名）
 - 7 国立大医学科9名（新卒1名）
- 東大は昭和63年度入試以来続いていた20名台を回復しました。地元筑波大は、新卒生が後期合格16名と奮闘し、全国1位の座を奪還しました。

国立大医学科は一桁でした。今年の新卒生進学率（すべて4年制大学）は52・0%でした。この10年間の進学率の推移を見ると、17年度と19年度を除いて、50%台で推移していますから、例年通りの進学率と言えます。志高く果敢に挑んだ受験の結果であり、もう一年かけて納得のいく大学に進学する、本校はそういう生徒たちの集まった学校だということに興味します。

本校を取り巻く環境も年々厳しくなっております。しかし、職員一同、優秀な生徒を教えられたいという喜びを持って、将来にわたって伸び続ける生徒の育成に尽力したいと考えております。ご支援よろしくお願ひします。

平成22年度入試合格状況

国公立大学

私立大学

*新卒は内数です

大 学	合格者	新 卒
北海道大	6	1
岩手大	1	1
東北大	15	10
茨城大	12	8
筑波大	42	35
群馬大	2	
埼玉大	1	
千葉大	9	5
お茶の水女子大	5	4
電気通信大	2	
東京大	24	14
東京医科歯科	1	
東京外語大	5	4
東京芸術大	2	1
東京工業大	5	4
東京海洋大	1	
東京農工大	4	2
一橋大	11	6
横浜国立大	6	1
新潟大	2	
富山大	1	
山梨大	2	1
信州大	1	

大 学	合格者	新 卒
浜松医科大	1	
名古屋大	2	
京 都 大	4	3
大 阪 大	2	
神 戸 大	2	
九 州 大	1	1
宮 崎 大	1	
国際教養大	1	1
会 津 大	1	
茨城県立医療大	2	2
高崎経済大	1	1
首都大東京	5	2
横浜市立大	1	
大阪府立大	1	1
国公立大計	185	108
(うち医学科)	9	1
防 衛 大	3	2
大 学 校 計	3	2

大 学	合格者	新 卒
青山学院大	24	15
学習院大	11	6
慶 応 大	51	22
国際基督大	8	8
上 智 大	22	10
中 央 大	45	14
津田塾大	6	3
東京女子大	11	4
日本女子大	15	10
東京理科大	88	44
明 治 大	78	37
立 教 大	53	30
早稲田大	105	50
法 政 大	33	17
北 里 大	9	5
芝浦工大	15	9
日 本 大	13	4
同志社大	5	2
立命館大	10	2
そ の 他	82	46
私立大計	684	338
合格者総数	872	448